

(人材確保・育成方策検討会委員) 2015-06-12

九州大学・造船学教室の就職先および人材育成状況

九州大学 篠田岳思

1) 造船学教室の構成

教員の母体	大学院・工学研究院・海洋システム工学部門	
	教授5名、准教授5名、助教4名、技術職員4名、事務1名、補佐3名	
	海洋エネルギー資源共同研究部門	
	教授1名	
学生の母体	工学部地球環境工学科船舶海洋システム	33名/学年 (5年平均)
	大学院	25名/学年 (5年平均)
	工学府海洋システム工学専攻	16名/学年
	工学府都市環境システム工学専攻	4名/学年
	工学府建設都市システム工学専攻	4名/学年
	博士課程(社会人、留学生)	21名(2015年)

1) 当教室の卒業生の就職先

過去5年(2010-2014)、卒業303名、これを母数として計算した割合 (割合1)
 進学を除いた場合168名を母数として計算した割合 (割合2)

	実数	割合1	割合2
修士、博士課程、留学、他大学、造船所	135名	44.6%	-
海運関連	99名	32.7%	58.9%
大学、官公庁、船級	8名	2.6%	4.8%
重工、製鉄、電気、電子	10名	3.3%	6.0%
その他、テレビ、商社、パイロット	39名	12.9%	23.2%
	12名	3.9%	7.1%

2) 人材育成について当教室活動状況

- (1) 学部3年に造船所での夏季実習2週間程度を全員に課していること。
- (2) 社会人ドクターの積極的な受入
- (3) 南米諸国及びトルコの大学等に向けた「大学の世界展開力強化事業」への参加計画。
 ブラジルを初めとする南米諸国、トルコ、と日本の大学・造船所のコラボによる船舶海洋分野の教育。
- (4) 日本船舶海洋工学会西部支部構造部会の若手勉強会
 - 1) 2007年より年3回のペースで開催
 - 2) 対象者、参加者;西部地区の造船会社の若手構造設計者 毎回20~25名程度
 - 3) 内容;構造強度設計に会計するテーマでの勉強(HCSR-Hのテクニカルレポートの勉強)
 大学教員からの講義、および講師を招いての構造設計実務に係した講演
- (5) 構造設計者のためのFEM講習
 - 1) 隔年実施
 - 2) 対象者・参加者;西部支部の造船会社の若手構造設計者、隔年2日間の講習を実施。
 毎回10~15名が参加
 - 3) 内容;構造設計者がFEM解析を行う上で知っていなければならない知識を講義
 FEM解析ソフト、プリソフトを用いた実習
- (6) 当教室の教授の造船工業会主催の「造船技術者・社会人教育」への講師としての参加
- (7) 日本船舶海洋工学会の構造強度材料に関する「夏の学校」
 2015年8月21日と22日を九大で開催する予定。
 参加者は、造船会社の設計技術者(大学院の学生も参加可能)、30~35名の参加を予定。
- (8) 日本船舶海洋工学会西部支部、造船関連トピックスについてシンポジウムの開催
- (9) 西部造船会技術研究会、構造、性能、機能設計部会の3部会として構成して、
 造船会社との研究交流活動を年間3回開催
- (10) 海洋教育推進委員会、国民の海洋への理解を増進、委員長・小林正典特任教授
- (11) 高校生向け・出張講義、高校生招聘講義